

過去の監査結果に対する措置の通知書

平成29年度

包括外部監査分

(長野市教育委員会分)

指摘事項	当初措置状況 (30年度)	令和3年度の措置状況	担当課	
<p>(意見)他の市有施設との連携と類似講座の集約・整理について(報告書165ページ)</p>	<p>施設が近くにあり、どちらかの施設は老朽化が進みつつあることから、講座の開催場所を同じ建物に集めることで、重複する講座を整理でき、また、利用者のニーズに沿って他の講座を企画する余地ができるので、講座に多様性も見え、利用者数の増加や満足度の向上が期待できる。施設の担当課にとらわれずに市全体的な視点で、集約や整理することを検討してほしい。講座を集約することで、貸館の予約が取りづらくなるかもしれないが、多くの人が集まる公民館の活性化に期待したい。</p>	<p>近隣に他の市有施設や地域住民が建設した地域公民館がある地区もあるが、市立公民館講座の参加を希望する住民も多く、他の施設では年齢制限により、受講できないケースや、同様の名称の講座でも、内容が異なるケースもある。 今後、これらを踏まえて、講座の集約・統合が可能であるか検討していく。 (家庭・地域学びの課)(30総第237号H30.6.4)</p>	<p>同一建物内や近隣に講座を開催している市有施設がある公民館・交流センターにおいて、類似する講座の開催や内容を調整し集約・統合を行った。 名称が同じ講座でも内容や対象者が異なるケースもあるため、これらを踏まえながら、今後も施設間で情報共有するなど連携し、可能なものは統合する体制を維持していく。</p>	<p>家庭・地域学びの課</p>